

肉厚薄く高精度

精密鑄造生産システムの量産設備

内外マリアブルが完成

ダクタイル鑄鉄 納期・コスト大幅減 向け受注開始

【千葉】内外マリアブル(千葉市花見川区、鈴木直記社長、043・259・3561)は、ダクタイル鑄鉄の精密鑄造生産システム「Hプロセス」の量産設備を完成し、本格受注を開始した。従来の鑄造と比べ寸法精度が高く、肉厚が薄く仕上がるなどのメリットを持ち、納期やコストの大幅低減が可能になる。初年度は月産20トンの製造から始め、2019年には同40トンの製造を計画、主力製品として育てていく。



Hプロセスはもともと英国で開発され、同社グループ会社の会津工場(福島県只見町)で量産技術確立に向けて取り組んできた。金型から鑄型を製造するシ

▲精密鑄造「Hプロセス」の砂型

エルモールド法を使用。その鑄型内で溶解した金属が連続した湯道を通って充填され、一度に多数の鑄物を高効率に生産できる。寸法公差は ± 0.25 mm、最小肉厚は2.0mmを確保できる。会津工場では自動車部品メーカーの採用が広がるなど受注が好調なことから、内外マリアブルでも専用ラインを構築することにした。

確立。今回、金型から砂型をつくるシェルマシンを導入したほか、専用の注湯ラインを整備した。投資額は2000万円。従来の鑄造からHプロセスへの置き換えで、精密に仕上がり鑄造後の加工がなくなるなど大幅に納期短縮やコスト低減ができる。また従来は5部品を溶接し、仕上げていた鑄造部品の一体成型などさまざまな提案が可能になる。

内外マリアブルの2018年6月期売上高は11億5600万円。大手自動車部品メーカーや建設機械部品メーカーなどへの提案を増やしていく。

清水建と企画受注開始

セミオーダークロックなど

リズム時計

リズム時計工業は、清水建設との共同企画によるセミオーダーメイドクロック(写真)とテーブルクロックの受注を24日に開始する。木枠部分の製造に清水建設の東京木工場(東京都江東区)が携わり、技能士が一品一品、ていねいに製作する。価格はオーダーメイドを予定する。



時計本体の外枠はウォールナットやナラなど3種類、内装背板

独フオイトとERP統合

情報共有効率化

IHIフオイトペーパーテクノロジ(東京都中央区、野上哲彦社長、03・6221・3100)は、合併相手の独フオイトペーパーテクノロジ(約1年かけてシステムを移行し、2019年秋に稼働する。投資額は約2億円。フオイトグループとERPを活用しているが、フオイトグループが導入しているSAP製ERPと

水処理の豪エンジン子会社

コストデータや設計図、技術情報などフオイトグループ内の全情報を自社情報と同様に活用できるのが特徴。互いの設計図を役立てることで、進捗状況の共有化が必要な国際協業プロジェクトでは効果が大きいとみられる。

製紙機械業界はインターネット通販向けの段ボールや家庭紙などの需要が堅調。IHIフオイトペーパーテクノを拡大する。

ボニー工業社長 吉荒俊

超音波

竹中のセンサ
色差、形状、汚れの影響に強い!
ワークを距離設定反射形で確実に検出
ディスタンスセンサ

兵庫県
ソニー
東洋工
グは兵庫
規模太陽
ガソーラ
た。設計